

鎌足 「志々雄様は私の
もの！」

ぽかんむ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

志々雄一派の精鋭部隊であった十本刀も寿命には勝てず、ある日鎌足が地獄にやって来た。

しかしそこでは剣心等にコテンパンにされてしまっている志々雄の姿が。
十本刀最弱とも一部で呼ばれている彼はどうする？

目次

鎌足「志々雄様は私のもの！」 | 1

鎌足「志々雄様は私のもの！」

寿命を迎えた私は地獄に飛ばされ、そこで志々雄様達と再会した。私達は閻魔大王相手に国盗りを試みていたんだけど、強大すぎる敵の前に苦戦を強いられていた。

ある日は……

志々雄「久しぶりだな抜刀齋。お前も地獄に落ちていたのか」

剣心「拙者は閻魔殿に呼ばれてここに來ただけでござるよ。死んでまで弱肉強食を謳うのはやめるんだ！」

志々雄「うるせえ！俺を止めたかったら力づくで止めてみる！」

剣心「そうでござるか……ならば遠慮はせぬ」

剣心「竜槌閃！」ズバツ！

由実「嘘……志々雄様が真つ二つに!？」

志々雄「抜刀齋……？不殺の誓いは……どうした……？」

剣心「おろ？すまないでござる。逆刃刀は弥彦に譲ってしまった……しかし

お主ならばこれくらいかわせると思っていたでござるが期待外れでござったか」

劍心「だいたいもう死んでいるのだから不殺など無意味でござるよ」

由実が志々雄様の身体を手でくつつけると、すぐに元通りになった。ただし精神面はこの限りではない。

また次の日

蒼柴「抜刀齋が何度も召集されて飽きたみたいだから今日は俺が来た」

志々雄「抜刀齋には連戦連敗だが、お前ごときに負けるほど落ちぶれてはいないぜ？
とらうま作りたくなかったら今すぐ帰るんだな！」

蒼柴「流水の動きからの回天劍舞六連！」

方治「抜刀齋程ではないにしろ速い！」

張「でも志々雄様なら……」

由実「酷い！ 身体がバラバラ！」

蒼柴「安心しろ。俺は死人を殺す術は持ち合わせてはいない」

終いには……

左之助「いくぜ！ 安慈」

左之・安「二重の極み！」

蝙蝠「志々雄様が粉々だと!？」

宇水「安慈、何故そちら側にいる？」

安慈「何故かは知らぬが私は天国におくられてな。刑期二十五年を北海道の仮設集治監で過ごしたからだと勝手に解釈している」

左之助「また暴れたらその度にぶっ飛ばしてやるからな！」

志々雄「どうなつてんだこれ？ こんなはずじゃ……」モトドオリ

操「つまりヘタレ化したつてわけね」ウンウン

鎌足「そうなの…… つて小娘!?! 何でいるの?」

操「閻魔から相談にのつてやれつて相談されてさ、何であたしなの？ 接点ほぼ皆無

じゃん？ あんたそんなに友達いないの？」

鎌足「…… そんなこと言われても……」

操「それで？ あんたはどうしたいの？」

鎌足「志々雄様と一緒にいたい！」

操「はあ……いい？ お願いだからもう暴れないで！ 蒼柴様がどれだけ面倒に

感じているかわかってるの!」アト ヒムラ トカ

操「今志々雄どんな感じなの？」

鎌足「最近元気がないの……いつもより多く包帯巻いてるし、一日中寝っ転がって
はぶつぶつ独り言言ってるし……」

操「そうなんだ、安心した。じゃあね！」

鎌足「待って!? 今の話のどこに安心する要素あったの!」

操「だってこれで蒼柴様の手を煩わせる必要がなくなっただけでしよ？ 地獄がどうな
ろうと知ったことじゃないけど私と蒼柴様との時間を潰されることだけは絶対阻止し
ないといけないからね！」

薫「そうよ！ これ以上剣心を呆れさせないで！」

鎌足「いつ来た!? 何でテレポーション使えるのよ！」

薫「操ちゃんと同じよ。閻魔大王に頼まれたから来てあげたの」

操「閻魔ずるくない？ 何で私には歩かせたのに薫さんにはテレポーション使っ
たの!」

鎌足「知らないわよ！ あと怒りながら私の服の後ろの新聞紙纏める紐みたいなの触

らないですよ！ 崩れちゃうでしょ！」

薫「とにかく志々雄真実が国盗り諦めたみたいで安心したわ！ じゃあね」キエル

操「帰りもテレポーション!? ずるい！」ハシリサル

鎌足「何で来たんだよ!?!」

鎌足「……………」

鎌足「あつ……………閻魔に呼ばれたのか……………」

鎌足「でもこのままでは本当に志々雄様が地獄を盗るのを諦めてしまうかも……………」

そんなの……………私の好きな志々雄様じゃない！」

鎌足「そもそも私達の存在理由はなんだ？ 志々雄様一人に負担をかけないように作

られた精鋭なはず！」

そう思った私はパソコンを立ち上げてぐるぐる先生にお伺いをたてた。

彼の示した纏めサイトにはこのようなことが書かれていた。

1 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 11 : 37 . 17 ID : X8d g 8 a 5

40 . net

あいつらほぼほ雑魚だよな

5 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 14 : 21. 45 I D : i o a v W T O
 C O . n e t

>> 1

正直俺らでもオカマとガリくらいなら殺れそう

7 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 14 : 47. 26 I D : 7 j w c l l q

k O . n e t

実質3本刀やし

17 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 16 : 27. 14 I D : m M f l 7 i

Q G O . n e t

蝙蝠さんとオカマがなあ

19 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 16 : 43. 67 I D : B D z k X 9

2 E O . n e t

蝙蝠とオカマが10本刀で尖閣さんがただの雑魚扱いだった現実

志々雄無能すぎやろ

29 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 17 : 33. 58 I D : n b K a P x

L W O . n e t

モブ警官> 剣術小町> カマホモ十本刀

30 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 17 : 45. 86 ID : v1Z5v0
 GTO.net

鎌使いだから鎌足とかww親は何を思つてこんな名前をつけたのか

32 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 18 : 02. 18 ID : 8p5y1p
 mYO.net

不二は弱くはなかったはず

相手がキチガイじみてた

十本刀編初期

ワイ「この張つてやつ負けたけどまあまあ強かつたな、これで最弱やつたら他のも
 もっと強いんやろなあ」

十本刀編後期

ワイ「張つて割とまあまあ正統派に強い方やつたな」

52 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 20 : 14. 82 ID : O / Ot9e
 nSO.net

蝙蝠さんは延々爆撃してればやられはしなかつたやろ

53 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 20 : 19. 63 ID : BDzkX9
 2EO.net

そもそも軍隊送れば一瞬で鎮圧できるので

暗殺恐れた政治家が代わりに派遣した警官一人と二ト一匹に潰される時点でたかが知れてる

所詮正規政府にはどう転んでも勝てない

56 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 20 : 35. 77 ID : F3LLWV
2p0.net

剣心が抜刀斎に戻らざるをえないレベルの牙凸を初見で見切った宇水さんは普通に強いだろうに

なんか弱い扱いされるよな

58 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 20 : 54. 21 ID : 5YZ9HB
vH0.net

仮に十本刀が全員剣心並みでも国盗りは難しそう

63 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 22 : 12. 99 ID : X8dga
540.net

宗次郎以外ゴミ過ぎる

67 : 2015 / 09 / 05 (土) 22 : 22 : 40. 99 ID : CtMCOJ
GV0.net

子供に負ける十本刀ww

70: 2015/09/05(土) 22:23:13. 98 ID:Xdj qDK

df0.net

どう頑張つてもししおが宗次郎に勝てるイメージが浮かばない

227: 2015/09/05(土) 22:46:09. 06 ID:77/mz

i+A0.net

>>70

追いかけてっこしてるうちに着火して終わりやろなあ

72: 2015/09/05(土) 22:23:21. 20 ID:HZjw1M

ICO.net

オカマとかいう恥さらし

鎌足「.....」

鎌足「まずは十本刀の実力の底上げが必要ね！ 私が最弱と思われているのならばそ

れは受け入れる。だからこそ強くなるなくちや！」

張「十捨てであがり！」

蝙蝠「あれ？ それってありなんだっけ？」

宇水「丁度捨てられるだけの枚数を持っていれば問題ない。どれ、私の心眼はカードすら見破る」

才槌「とかいっておおきつきからずっと大貧民だけどな！」ハツハツハ

鎌足「……………」

張「おっ！ 鎌足来たか。お前も大富豪やるか？」

私はすぐに一年間の休暇届を提出した。みんな士気が駄々下がりになこともあつてそれはすんなりと受け入れられた。

必ず戻ってくるという誓いのため大鎌と鎖分銅を自分の部屋に置きっぱなしにしたまま、私は修業の旅に出掛けた。

鎌足「何で大富豪してるの!? あの人達信じられない！」

一年後……………

剣心「また暴れたでござるか？ いい加減にするでござるよ」

由実「ちよつとなんなの？　ポーカーの邪魔しないでくれる？」

左之助「嘘つけ！　俺達は閻魔直々に呼ばれたんだ。それにお前らがとらんぷで遊んでるわけないだろ！」

宗次郎「待つてくださいよ。僕達は本当に何も……」

鎌足「あら……いらつしやい！　やっぱり来たわね」

由実「鎌足!?　帰つてきたのね。やっぱりつて？」

鎌足「あいつらは私が呼んだのよ。正確には私が暴れているのを発見した閻魔大王が、だけどね」

鎌足「みんな自信を取り戻して！　あいつらを倒して私達は雑魚じゃないことを証明するの！」

蝠也「そんなの無理だ……」

宇水「志々雄ですら勝てなかつたやつらに私らが勝てるものか」

剣心「拙者があいつを倒すでござるよ」

腰を大きく捻らせる独特の構えを見せる抜刀斎。

對抗するように私も大鎌を腰にあてて同様の構えを披露。

弥彦「あれは飛天御剣流!？」

剣心「どういうことでござるか？」

鎌足「私は半年の間比古清十郎のもとで修行を重ねていたの」

剣心「師匠に!？」

薫「そこまでしてあの人は私達を倒したいのね……」

鎌足「違う! 私志々雄様に笑顔を取り戻したいの! 貴方達を倒すのはその過程に過ぎない!」

ぶつかり合う二つの天翔龍閃。しかしその速度は私が圧倒的に上回り、呆気なく抜刀齋の身体を斬り裂いた。

蒼柴「なに!？」

左之助「そんな馬鹿な……」

剣心「縮……地……でござるか……」

宇水「オカマごときにやられるとは抜刀齋も落ちぶれたな!」

斎藤「それは誤りだ」

宇水「何がおかしい?」

斎藤「死んだことで全盛期の実力を維持している抜刀齋は弱体化などしない。つまり鎌男が強くなっているとしか考えられない」

由実に連れてこられた志々雄様の目がみるみる変わっていくのがわかった。あれだ、あれこそが私の愛した目だ。完全に包帯で隠されてはいるが一瞬でわかる。

志々雄「俺は何を血迷っていたんだ？ この世は所詮弱肉強食。強ければ生き、弱ければ死ぬ。それはあの世でも、地獄でも同じだ！」

加えて私は白髪でサングラスをかけた人から学んだ倭刀術、目がイッテる元新撰組から教わった二階堂兵法、精神面に難のある大男から技術を盗んだ飛飯綱を駆使して彼の仲間を虫けらのように撃破していった。

弥彦「真似つこだと思つて油断したぜ……」

左之助「教わつた数々の技を複合させてやがる……」

蒼柴「これほどの才能の持ち主だったとはな……」

斎藤「精神が……肉体を凌駕しているのか……？」

方治「見直したぞ鎌足！」

宗次郎「もう僕より強くなっちゃってるかもしれませんね」

志々雄「やるじゃやねえか鎌足。それでこそ俺の部下だ。それから俺を取り戻したことに感謝する」

鎌足「志々雄様ああ!!」ダキツク アツイケドガマン

由実「悔しいけど鎌足には敵わないわね……」

鎌足「私……ずつと志々雄様のことが好きでした！」

志々雄「お前の一途な気持ちは俺にも伝わっていたぜ！ これからもよろしくな」

鎌足「はいっ!!」マンメンノ エミ

あの世

操「何書いてるのオカマ？」

鎌足「小娘!? いつからそこに!? 何でいるの!？」

操「あんたがパソコンで、緋村を倒すところを書いてる辺りから。小説書く趣味とかあつたんだ、意外！」

鎌足「あはは……この事は内緒でね……」

操「安心してよ誰にも言わないからさ！　じゃーね！」

鎌足「だからなんでいたの!?　恥ずかしい……………」

操「由実から」鎌足が自室に引きこもってるから相談にのってあげてくれない?」つて言われたから来てみたけど、心配は無用ね……………」

操「それにしても…………… あんな形でしか自分の欲求を満たせないなんて可哀想なヤツ……………」

おしまい